

## 第2回ランチタイムFD 参加者アンケート結果

全学教育センター

### I. 回答者の属性

回答者は、参加者26名のうち、13名であった。

回答者の属性は、

職種：専任教員6名、非常勤教員5名、職員2名

性別：男性5名、女性7名、無回答1名

所属学部等：社会福祉学部2名、経済学部4名、健康科学部0名

子ども発達学部2名、国際福祉開発学部3名、福祉経営学部0名

無回答2名

### II. 参加への経緯

本会の開催についてどのように知ったかについては、

ポスター1名、チラシ6名、教授会資料4名、知人0名、web1名、

メール（ML含む）5名、その他0名（複数回答あり）であった。

今回のサロンに参加を決めた理由については、

英語教育の可能性や支援などの意見が知りたかった 2件

Gary先生の話が聞きたかったから 2件

本学学生に対するご意見を伺いたかった 1件

色々な方向からのアプローチを広げたいと思った 1件

興味があったため 3件

英語コミュニケーションに対する職員の関心を知りたかった 1件

自身の業務に直結している 1件（複数回答あり）であった。

### III. きょうゆうサロンのプログラムについて

本会全体の評価を12項目でたずねた。その結果を以下に示す。

#### 1. 今回のきょうゆうサロンは、全体的に満足のものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	12	92.3%
3. どちらかというと思う	1	7.7%
2. どちらかというと思わない	0	0.0%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	13	

2. 事前に、このきょうゆうサロンの目的を理解していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	10	76.9%
3.	どちらかというと思う	2	15.4%
2.	どちらかというと思わない	1	7.7%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
		13	

3. 今回のきょうゆうサロンの目的は分かりやすく説明されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	11	84.6%
3.	どちらかというと思う	2	15.4%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
		13	

4. 開催の日時、時間帯は適切であった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	7	53.8%
3.	どちらかというと思う	4	30.8%
2.	どちらかというと思わない	2	15.4%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		13	

5. 事務局は手際よく運営していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	13	100.0%
3.	どちらかというと思う	0	0.0%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		13	

6. 内容は、ちょうどよいレベルに設定されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	12	92.3%
3.	どちらかというと思う	1	7.7%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		13	

7. 内容は、わかりやすい順序で進められた

	人数	割合(%)
4. そう思う	12	92.3%
3. どちらかというと思う	1	7.7%
2. どちらかというと思わない	0	0.0%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
	13	

8. 配布資料・提示資料はわかりやすいものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	12	92.3%
3. どちらかというと思う	1	7.7%
2. どちらかというと思わない	0	0.0%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
	13	

9. 話題提供者の説明はわかりやすいものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	12	92.3%
3. どちらかというと思う	1	7.7%
2. どちらかというと思わない	0	0.0%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
	13	

10. このサロンを通して、人的なつながりを作ることができた

	人数	割合(%)
4. そう思う	5	38.5%
3. どちらかというと思う	4	30.8%
2. どちらかというと思わない	1	7.7%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	2	15.4%
無回答	1	7.7%
	13	

11. このサロンを通して、自分に有益な情報を得ることができた

	人数	割合(%)
4. そう思う	9	69.2%
3. どちらかというと思う	3	23.1%
2. どちらかというと思わない	1	7.7%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
	13	

12. 今回の内容は、今後の自身の取り組み（指導・支援など）をするうえで役に立ちそうだと

	人数	割合(%)
4. そう思う	7	53.8%
3. どちらかというと思う	5	38.5%
2. どちらかというと思わない	1	7.7%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
	13	

12. でお答えの内容について、具体的にはどのような点が役に立ちそうですか。

無回答	8件
学生への動機づけの具体例	
1, 2年ゼミ指導と3, 4年の卒論指導に生かしたい	
先生の分析レベル、Desire	
正課教育と正課外教育を連携させることの有効性	
学生に何をアドバイスするか	

IV. 今後、FD で扱ってほしいテーマがあれば、ご提案ください。

無回答	9件
教材について	
この続きも良いですね	
今回のような(English session)英語での講演	
日本人教師からみたいいわゆる低学力英語受講生の問題をどう解決するかが問題だ。さらに外国人講師を無にした理由が不明なままである。したがって日本人の立場から最低な学生の様子、問題を考えるテーマを見つけて欲しい。	

V. その他、ご要望・ご感想などをご自由にお書きください。

無回答	11件
大変有意義な時間ありがとうございました	
しばらくゲーリ先生に続けて欲しい。教職員にとってある程度の時間(20~30分)英語を聞く機会を持つことは大変重要。少なくとも20人は来るでしょう。	